

三重県議会の活動及び人権、県の広報に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
広聴広報課	2017年11月21日から 2017年12月05日まで	1163	749	64%

今回は、三重県議会事務局、環境生活部人権課、戦略企画部広聴広報課からのアンケートです。

はじめに、三重県議会事務局からです。

三重県議会では、例年12月に1年間の県議会の主な活動を振り返る「三重県議会10大ニュース」を発表しています。選定にあたっては、県民の皆さんのご意見も取り入れています。結果は、12月下旬の議長定例記者会見で発表し、その後、県議会ホームページに掲載する予定です。

皆さんが10大ニュースと思われる活動について、お聞かせください。

平成29年三重県議会10大ニュース候補の各活動の内容は、添付ファイル（PDF形式）をご覧ください。

なお、平成28年の結果は、下記のアドレスからご確認ください。

（参考）三重県議会ホームページ：http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/000125131_00001.htm

議長定例記者会見資料：<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000674839.pdf>

つぎに、環境生活部人権課からお聞きます。

三重県では、「性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力を発揮できる機会が誰にでも与えられる社会」の実現をめざしています。「第三次人権が尊重される三重をつくる行動プラン」の推進に活用するため、皆さんの人権に関する意識や実態についてアンケートを実施します。

最後に、戦略企画部広聴広報課からお聞きます。

三重県では、広報紙「県政だより みえ」、県データ放送、県のホームページ、テレビ・ラジオや新聞等、さまざまな広報媒体を活用して県の情報を発信しています。県の広報の取組をより効果的なものとしていくため、アンケートを実施します。

ご協力をお願いします。

■ 添付ファイル

- [平成29年三重県議会10大ニュース候補（概要）](#)

■ Q1 「三重県議会の活動に関する調査（10大ニュースの選定）」

最初に、三重県議会事務局からお聞きます。

あなたが、10大ニュースと思われる活動を、次のニュース一覧から最大10個まで選んでください。

※「その他」は、選択肢以外で、あなたがおすすめのある取組がありましたら選んでください。

合計	749	
「みえ現場de県議会～女性活躍の推進～」を開催（1月）	183	24.4%
議長定例記者会見における手話通訳の導入（2月）	182	24.3%
県議会新体制の発足（議長、副議長、正副委員長等の選出）（5月）	80	10.7%
議会中継への手話通訳導入の方針を決定（9月）	234	31.2%
「みえ現場de県議会～文化振興～」を開催（11月）	99	13.2%
「子どもの貧困対策調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言（3月）	281	37.5%

「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言（3月）	215	28.7%
「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を設置（5月）	208	27.8%
「働き方改革調査特別委員会」を設置（5月）	238	31.8%
「平成29年版成果レポート」に関し知事に申し入れ（8月）	58	7.7%
議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討を行うプロジェクト会議を設置（9月）	57	7.6%
三重県議会「議員勉強会」を開催（3月、10月）	46	6.1%
「平和のつどい」に協力（8月）	130	17.4%
「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決（9月）	293	39.1%
東海北陸7県議会議長会議を津市で開催（6月）	117	15.6%
紀伊半島三県議会交流会議で意見交換（7月）	84	11.2%
政務活動費を減額（4月）	300	40.1%
政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開（7月）	331	44.2%
県議会議員の選挙区及び定数について意見募集（9月）	146	19.5%
政務活動費の後払いに関する検討を行うプロジェクト会議を設置（9月）	141	18.8%
公共政策大学院からインターンシップ実習生を受入れ（9月）	84	11.2%
その他	29	3.9%

■ Q2 人権尊重社会について 1

ここからは、人権に関することについてお聞きします。

三重県では、「性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力を発揮できる機会が誰にでも与えられる社会」の実現をめざしています。

あなたは、「三重県が県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっている」と感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	749	
感じる	13	1.7%

どちらかといえば感じる	142	19.0%
どちらともいえない	286	38.2%
どちらかといえば感じない	127	17.0%
感じない	71	9.5%
わからない	110	14.7%

■ Q4 人権啓発・人権学習の機会について 1

あなたは、最近1年間で、人権に関する啓発等について、見たり、聞いたり、人権に関して学んだ機会がありましたか（職場や学校での参加も含みます）。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	749	
人権に関するイベントやスポーツの試合と連携した啓発等に参加した	39	5.2%
人権に関する講演会や学習会に参加した	114	15.2%
人権メッセージ、ポスター等に応募した	31	4.1%
駅・ショッピングセンター等での街頭啓発に参加したり、啓発物品を受け取ったりした	83	11.1%
人権ライブラリー（図書・ビデオ）等を利用したり、インターネット等で人権に関する情報の視聴や収集をしたりした	31	4.1%
地域やボランティア団体等の活動に参加した	38	5.1%
国・県・市町の広報紙による広報を読んだ	222	29.6%
人権ポスターやチラシ、人権フォトコンテスト等の展示を見た	173	23.1%
テレビ・ラジオのスポットCMや鉄道車内の吊り広告を見た	177	23.6%
特になかった	284	37.9%
その他	8	1.1%

■ Q5 人権啓発・人権学習の機会について 2

Q4で「特になかった」とお答えいただいた方にお聞きします。なかった理由を1つ選んでください。

合計	284	
イベントや講演会の開催、ポスターの募集などについて知らなかった	156	54.9%
イベントや講演会が開催されることは知っていたが、時間や場所の都合で参加できなかった	23	8.1%

対象者が限定されており、参加や応募ができなかった	3	1.1%
人権に関心がない	54	19.0%
人権について、十分に理解しているので参加しなかった（必要がない）	27	9.5%
その他	21	7.4%

■ Q6 人権侵害について

あなた、またはあなたの家族や友人・知人が、最近1年間で、いじめや虐待、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、ドメスティック・バイオレンス（DV）※、差別待遇等の人権侵害を受けた（受けたと感じた）ことがありますか。

※ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、夫婦や恋人など親密な関係にある、またはあった人からの身体的・心理的暴力などをいいます。

合計	749	
あった	193	25.8%
なかった	556	74.2%

■ Q7 人権相談について 1

Q6で「あった」とお答えいただいた方は、そのとき、どこへ（誰に）相談しましたか。また、「なかった」とお答えいただいた方は、もし、あなたが、何らかの人権侵害を受けた場合、どこへ（誰に）相談しますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	749	
家族や友人、職場の同僚等	401	53.5%
職場の上司、学校の先生、自治会長等	106	14.2%
市町の相談窓口等	206	27.5%
県の相談窓口等	74	9.9%
地方法務局の相談窓口	29	3.9%
人権擁護委員	36	4.8%
民生委員・児童委員	34	4.5%
警察	156	20.8%
弁護士	78	10.4%
誰にも相談しなかった（しない）	108	14.4%
その他	53	7.1%

■ Q8 人権相談について 2

Q7で「誰にも相談しなかった（しない）」とお答えいただいた方にお聞きします。誰にも相談しなかった（しない）理由を教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	108	
-----------	------------	--

我慢できる程度の事柄だった	27	25.0%
今までの人間関係をこわしたくなかった	26	24.1%
抗議したり、対抗処置ができるような相手ではなかった	20	18.5%
人に言えるような事柄ではなかった	20	18.5%
相談したかったが、誰に（どこに）相談してよいかわからなかった	17	15.7%
相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った	19	17.6%
過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、役に立たなかった	19	17.6%
その他	22	20.4%

■ Q9 人権尊重社会への取組について

あなたは、人権が尊重される社会の実現のために、どのような取組が特に重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	749	
住民やNPO団体等が、人権が尊重されるまちづくりに取り組むこと	211	28.2%
企業、事業所が人権研修を実施したり、社会的責任として人権問題に関する取組を支援していくこと	321	42.9%
行政が人権尊重の視点に立った取組を進めていくこと	257	34.3%
行政が人権啓発活動を進めていくこと	184	24.6%
学校や地域で、人権教育を充実していくこと	448	59.8%
人権との関わりの深い職業に従事している人の人権意識を高めていくこと	125	16.7%
人権問題に関する相談体制を充実させていくこと	257	34.3%
人権侵害を受けた人に対する救済策を充実すること	244	32.6%
特にない	27	3.6%
わからない	40	5.3%
その他	28	3.7%

■ Q10 県が提供している情報の入手手段について

ここからは、県の広報に関することについてお聞きします。

あなたは、三重県が提供している情報※をどこから得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※三重県が提供している情報とは、県の計画・政策・財政、募集案内、催し物案内、研修案内、各種統計、県

有施設の案内、官公署の事務手続き方法等に関する情報のことです。

合計	749	
三重県広報紙「県政だより みえ」	582	77.7%
三重県データ放送「暮らしの便利帳」（三重テレビで「d」ボタン）	47	6.3%
三重県のホームページ	169	22.6%
新聞広告「広報みえ（みえだよりプラス）」等	164	21.9%
三重テレビの県広報番組「県政チャンネル～輝け三重人～」（金曜日22時15分～）	65	8.7%
F M三重の県広報番組「三重県からのお知らせ」及びF M三重・東海ラジオ・C B CラジオでのラジオCM	65	8.7%
新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュース	202	27.0%
ポスターやチラシ	115	15.4%
メールマガジン「みえエクスプレス」	12	1.6%
ソーシャルメディア（Facebook、Twitter、Instagramなど）	26	3.5%
その他	5	0.7%
特に情報は得ていない	67	8.9%

■ Q11 県の情報入手状況について

あなたは、得たいと思う県の情報を入手できていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	749	
十分入手できている	12	1.6%
概ね入手できている	330	44.1%
あまり入手できていない	281	37.5%
まったく入手できていない	38	5.1%
入手したい県情報は特にない	88	11.7%

■ Q12 広報紙「県政だより みえ」の利用状況について 1

あなたは、広報紙「県政だより みえ」※をご覧になっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※広報紙「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第1日曜日に新聞折り込みでお届けするほか、県および市町施設、スーパー、コンビニ、郵便局などの身近な施設に配置しています。また、県のホームページ上でも、「県政だより みえ」のPDF版、電子ブック版、テキスト版、声の三重県だよりをご利用いただけます。

（参考）<http://www.pref.mie.lg.jp/DAYORI/>

合計	749	
いつも読んで（見て）いる（月に1回以上）	224	29.9%

時々読んで（見て）いる（2～3カ月に1回程度）	229	30.6%
たまに読んで（見て）いる（半年に1回程度）	140	18.7%
読んだ（見た）ことがある（年に1回程度）	83	11.1%
読んだ（見た）ことがない	73	9.7%

■ Q13 広報紙「県政だより みえ」の利用状況について 2

Q12で、「読んだ（見た）ことがない」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたが、「県政だより みえ」を読んだ（見た）ことがない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	73	
「県政だより みえ」を知らなかった	13	17.8%
「県政だより みえ」が新聞に折り込まれていることに気づかなかった	5	6.8%
新聞を購読していない	26	35.6%
「県政だより みえ」をどこで入手できるか知らなかった	12	16.4%
「県政だより みえ」を読む時間がない	3	4.1%
「県政だより みえ」に興味がない	19	26.0%
その他	5	6.8%

■ Q14 三重県データ放送「暮らしの便利帳」の利用状況について 1

あなたは、三重県データ放送「暮らしの便利帳」※をご覧になっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※三重県データ放送「暮らしの便利帳」は、毎週木曜日に更新し、イベントの案内や県からのお知らせといった最新情報をお伝えするとともに、県民の安全・安心に関する情報、相談窓口の案内など、皆さんの暮らしに役立つ情報をお届けしています。三重テレビで「d」ボタンを押すだけの操作で簡単に視聴していただけます。

合計	749	
いつも見ている（ほぼ毎日）	4	0.5%
時々見ている（週に1～2回程度）	31	4.1%
たまに見ている（月に1～2回程度）	63	8.4%
見たことがある（年に1～2回程度）	116	15.5%
見たことがない	535	71.4%

■ Q15 三重県データ放送「暮らしの便利帳」の利用状況について 2

Q14で、「たまに見ている（月に1～2回程度）」「見たことがある（年に1～2回程度）」「見たことがない」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたが、三重県データ放送「暮らしの便利帳」をご覧になる機会が少ない、または、ご覧になっていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	714	
-----------	------------	--

そもそもテレビのデータ放送を見ない(dボタンを利用しない)	234	32.8%
テレビのデータ放送の操作が面倒に感じる	63	8.8%
三重テレビのデータ放送で県の情報を放送していることを知らなかった	203	28.4%
三重県データ放送「暮らしの便利帳」に掲載されている情報に興味がない	35	4.9%
三重テレビを見る習慣がない	253	35.4%
テレビのデータ放送を見る時間がない	116	16.2%
テレビを見ない	58	8.1%
その他	23	3.2%

■ Q16 三重県からのお知らせやイベントなどの情報の入手手段について 1

あなたは、三重県からのお知らせやイベントなどの情報※をどの媒体で入手したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※三重県からのお知らせやイベントなどの情報とは、三重県からのお知らせ（安全・安心、県の相談窓口、県の開催する講座、試験などの情報）や県の開催するイベントなどの情報のことで、現在、三重県データ放送「暮らしの便利帳」でお届けしている情報のことです。

合計	749	
広報紙や定期刊行物（各機関・施設等が定期的に情報発信のため発行しているもの）	443	59.1%
ポスターやチラシ	228	30.4%
新聞（県の出す広告、記事等による報道）	265	35.4%
テレビ（県の広報番組、県の出すCM、ニュース等による報道）	162	21.6%
テレビのデータ放送	32	4.3%
ラジオ（県の広報番組、県の出すCM、ニュース等による報道）	69	9.2%
ホームページ	177	23.6%
メールマガジン	75	10.0%
ソーシャルメディア（Facebook、Twitter、Instagramなど）	91	12.1%
三重県からのお知らせやイベントなどの情報は特に得たいと思わない	26	3.5%
その他	10	1.3%

■ Q18 SNS（ソーシャルネットワークサービス）の利用状況について

県の情報に限らず、さまざまな情報を入手する手段（知人等との連絡目的の使用を除く）として、あなたが、現在利用しているSNSは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	749	
Facebook	213	28.4%
LINE	434	57.9%
Twitter	150	20.0%
Instagram	122	16.3%
YouTube	247	33.0%
Google+	154	20.6%
その他	11	1.5%
情報入手する手段としてSNSを利用していない	182	24.3%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture

平成29年 三重県議会10大ニュース候補（概要）

10大ニュースの候補を議会の基本取組ごとにリストアップしました。それぞれの内容は以下のとおりですので、皆さんの選定の参考にしてください。

～開かれた議会運営の実現～

1月	① 「みえ現場 de 県議会～女性活躍の推進～」を開催
<p>「みえ現場 de 県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が各地域に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする取組です。</p> <p>1月18日に鈴鹿市文化会館で、「女性活躍の推進」をテーマに開催しました。当日は、中小企業の女性経営者の皆さんなどから女性が働く上での課題や女性活躍の推進のために県に期待することなど、さまざまなご意見をいただきました。</p>  <p style="text-align: center;">みえ現場 de 県議会の様子</p>	
2月	② 議長定例記者会見における手話通訳の導入
<p>平成28年6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」が成立したことを踏まえ、県議会としても、ろう者が県議会情報を円滑に取得できるような取組を進めています。その一環として、2月から都道府県議会としては初めて議長定例記者会見に手話通訳を導入しました。</p>  <p style="text-align: center;">手話通訳を導入した議長定例記者会見の様子</p>	
5月	③ 県議会新体制の発足（議長、副議長、正副委員長等の選出）
<p>5月に正副議長選挙を行ない、議長に舟橋裕幸議員（新政みえ、津市選出）、副議長に水谷隆議員（自民党、いなべ市・員弁郡選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、3つの特別委員会および議会運営委員会の委員・正副委員長などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p>  <p style="text-align: center;">議長選挙の様子</p>	

9月	④ 議会中継への手話通訳導入の方針を決定
----	----------------------

平成28年6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」が成立し、手話による情報発信等に積極的に取り組む必要があること、また、県民を対象としたアンケート調査で、議会中継への手話通訳導入に肯定的な回答が多かったことなどを踏まえ、来年度から代表質問及び予算決算常任委員会総括質疑の中継に手話通訳を導入する方針を決定しました。



手話通訳を導入した議会中継のイメージ


11月	⑤ 「みえ現場 de 県議会～文化振興～」を開催
-----	--------------------------


「みえ現場 de 県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が各地域に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする取組です。


11月24日に、くわなメディアライブで、「文化振興」をテーマに開催する予定です。当日は地域の文化活動及び歴史の伝承などに関わっている方などから、後継者の育成、情報発信、独自の資金調達など文化活動に取り組む上での課題や県に期待することについて、ご意見をいただくことを予定しています。


募集案内と開催要領


～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～


3月	⑥「子どもの貧困対策調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言
<p>3月21日に行われた最終の委員長報告では、県当局に対して、中長期的な視点も含めた子どもの貧困対策について提案・要望を行ないました。また、3月24日には、子どもたちが社会から孤立することなく安心して過ごせる居場所モデル事業の構築、児童養護施設退所後等の子どもたちの自立支援、市町等関係機関との一層の連携、支援が必要な家庭への積極的な情報提供等について知事に提言を行ないました。</p>	
	
委員長報告の様子	

3月	⑦「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言
<p>3月21日に行われた最終の委員長報告では、県当局に対して、観光誘客・産業振興等の取り組みについて提案・要望を行ないました。また、3月24日には、「日本の文化聖地」としての三重の地のブランド化、戦略的・効果的な情報収集など12項目に渡って知事に提言を行ないました。</p>	
	
委員長報告の様子	


5月	⑧「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を設置
<p>委員会では、障がい者差別解消条例の策定に向け、障がい者を取り巻く現状や差別の解消の取り組みを進める上での課題などについて、関係者からの意見聴取も行ないながら、調査を行なっていくこととし、県内調査や県外調査、参考人招致を実施するなどの活動を続けています。</p>	
	
県外調査の様子	


5月	⑨「働き方改革調査特別委員会」を設置
<p>委員会では、県内労働者の働き方の実態や課題を把握し、働き方改革の実現に向けた具体的な方策や行政の果たす役割などについて調査を行なっていくこととし、県内調査や県外調査、参考人招致を実施するなど活動を続けています。</p>	
	
<p style="text-align: right;">参考人招致の様子</p>	


8月	⑩「平成29年版成果レポート」に関し知事に申し入れ
<p>8月4日に、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、「平成29年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して申し入れを行いました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">知事申し入れの様子</p>	

9月	⑪議会改革度の向上及び議会基本条例の改正に関する検討を行うプロジェクト会議を設置
<p>プロジェクト会議では、議会改革度の向上に向け、改革先進議会が実施している施策の本県議会への導入可能性の検討や、制定から10年を経過した議会基本条例について、今の時代にみあった条例改正の必要性の検討を進めています。</p>	
	
<p style="text-align: right;">プロジェクト会議の様子</p>	

～独自の政策提言と政策立案の強化～

3月、10月	⑫三重県議会「議員勉強会」を開催
<p>「議員勉強会」は、県政を取り巻く諸課題の中から、特に議員間で知識の共有化を図る必要があると思われるテーマについて、全議員を対象に外部有識者からご講演いただく取組です。</p> <p>3月開催：テーマ「女性の職業生活における活躍推進」 10月開催：テーマ「働き方改革、そこが間違ってます！」</p>	
 <p data-bbox="852 757 1493 786">テーマ「働き方改革、そこが間違ってます！」の議員勉強会の様子</p>	

8月	⑬「平和のつどい」に協力
<p>今年、県議会が「非核平和県宣言」を決議してから20年目の節目の年にあたります。このことを踏まえ、三重から平和を発信するとともに、県内の若い世代が被爆地の若者との交流などを通じて戦争の悲惨さに触れ、平和への想いをより一層深める機会とするため三重県主催で開催された「平和のつどい」に協力し、県議会が行っている平和への取組などを紹介しました。</p>	
 <p data-bbox="965 1375 1445 1404">「平和のつどい」で平和の取組を紹介している様子</p>	

9月	⑭「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決
<p>県議会では、北朝鮮の地下核実験実施の発表及び弾道ミサイルが北海道の上空を通過したことに対し、「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決しました。この決議では、北朝鮮に対し、厳重に抗議し、断固として非難するとともに、国連安全保障理事会の決議を遵守し、全ての核兵器及び既存の核計画の放棄を求める六者会合の共同声明の完全実施及び弾道ミサイルの発射等の挑発行動の自制を改めて強く求めました。</p>	
 <p data-bbox="1118 2040 1385 2069">本会議での採決の様子</p>	

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

6月	⑮東海北陸7県議会議長会議を津市で開催
<p>6月2日に、津市において、愛知県、静岡県、岐阜県、富山県、石川県、福井県及び三重県の各県議会の議長と副議長による、東海北陸7県議会議長会議を開催しました。</p> <p>会議では、「災害時における広域応援体制の確立について」や「精神障がい者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用について」など、喫緊に対応が必要な7件の議案を議決しました。</p> <p>また、会議において議決した議案については、7月25日に、国関係機関に対して要望活動を行ないました。</p>	



東海北陸7県議会議長会議の様子

7月	⑯紀伊半島三県議会交流会議で意見交換
<p>7月28日に、和歌山県において、三重県、和歌山県、奈良県の三県議会による、第11回紀伊半島三県議会交流会議が開催されました。</p> <p>会議では、「農林水産業の活性化を図るための人材育成」、「更なる誘客に向けての取組」の2つの議題について意見交換を行ない、人材交流等の連携について検討することや、CLTを使った建築物の普及・推進、試験研究機関の交流、連携について合意しました。</p>	



紀伊半島三県議会交流会議の様子

～政務活動費及び議員の定数・選挙区～

4月	⑰政務活動費を減額
<p>議会経費削減のため、「三重県政務活動費の交付に関する条例」の一部を改正し、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に交付される政務活動費を、条例本則に規定する額から20%特例的に減額しています。</p>	

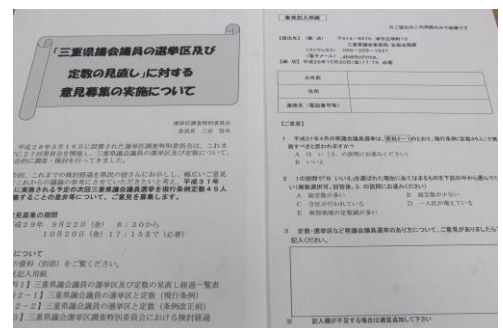


7月	⑱政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開
<p>政務活動費の透明性をより一層高めるため、県議会ホームページで従来から公開している収支報告状況に加え、平成28年度分から領収書等もホームページで公開しています。</p>	



領収書等をパソコンで見ているイメージ

9月	⑲県議会議員の選挙区及び定数について意見募集
<p>選挙区調査特別委員会では、これまでの検討経過を県民の皆さんにお示しするとともに、幅広いご意見等をお聞きし、これからの議論の参考とするため、意見募集（9月22日～10月20日）を行ないました。</p>	



意見記入用紙

9月

⑳政務活動費の後払いに関する検討を行うプロジェクト会議を設置

プロジェクト会議では、政務活動費の後払いについて、先進議会の状況等を調査し、本県議会への導入可能性の検討を進めています。



プロジェクト会議の様子

～その他～

9月

②① 公共政策大学院からインターンシップ実習生を受入れ

県議会では、平成21年度から、議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、公共政策大学院の学生をインターンシップ実習生として受け入れています。今年度も、北海道大学大学院と同志社大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習生は、県議会や県議会議員の役割等について学んだ後、正副議長等に対し、インターンシップ実習の成果として、地域活性化や孤立した若者支援のために議会ができることについて提案をしました。



正副議長と実習生との懇談の様子

②② 自由記載